



2014-2015年度

広島北

ロータリークラブ週報



Rotary Club of Hiroshima North  
2014年11月20日発行 Vol. 1414

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン 氏  
国際ロータリーテーマ

LIGHT UP ROTARY  
ロータリーに輝きを

■会長 河本 浩一 ■幹事 合田 尚義  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2014年11月20日(木) 第2203回  
ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」  
来客紹介 ローター-家族親睦委員会  
ロータリー財団表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会・同好会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 「新会員卓話」 森 直基 会員

前回例報告 2014年11月13日(木) 第2202回

ロータリーソング 「われらの生業」  
来客紹介 ローター-家族親睦委員会  
連続出席表彰  
会長時間  
幹事報告  
委員会・同好会報告  
ニコニコ箱  
卓話時間 「日米野球の違いとカーブ」  
元広島東洋カーブ 投手・現野球解説者  
高橋 建 氏

連続出席表彰



3年二井本会員、8年桑村会員、14年久保(豊)会員、19年塩本(千)会員  
25年楨殿会員・森嶋会員



会長挨拶 会長 河本 浩一

皆様こんにちは。本日卓話をいただきます高橋様、広島文教女子大学の角重学長様、8名のゲストの皆様、ご来会のお客様、ようこそお越し下さり、会員一同歓迎申し上げます。

さて、中国の古典に次のような諺があります。「霜を踏んで堅氷至る」。ご承知の通り、霜が降りる前兆を経て、氷が堅く凍って厳冬へと至る一の意味で、転じて何事も前兆が現われて、その後実際の出来事が起きる一の喩えです。

二日前、2年半ぶりの日中首脳会談の折、北京の人民大会堂で両首脳が握手をしている顔の表情を見ていると、この諺通り両者はまさしく氷の彫刻を見ているような無表情で仏頂面だったのが印象的でした。つまり、日中関係は尖閣の国有化と靖国参拝という「霜」を踏んで、両国の関係は硬く凍てつき、堅氷に閉じ込められて身じろぎすらできなくなっています。かつて小泉総理が靖国参拝を続けた結果、日中関係は冷え切って最悪の状態になったことがありますが、次期総理安倍氏は、最初の訪問国に中国を選びました。その結果、当時の温家宝首相は、「氷を砕く」と称えて好意的に迎えて以来、日中関係は「氷を溶かす旅」へと繋がってゆき首脳同士の往来が復活したのです。だがしかし、氷を砕いたはずの安倍氏にもかかわらず、自らの靖国参拝もあって事態はさらにこじらせる結果となっています。42年前、日中国交正常化の際、労を尽くした人々を、当時の周恩来首相は、「水を飲むときは井戸を掘った人を忘れない」の名言を残しましたが、そうした先達の苦労は、今や水の泡と化し、まさに最悪の氷河期にあるといえます。

先方を伺えば、政治体制を異にする目の上の瘤のような存在であり、つきあい辛い国ではありますが、地理的には隣国同士となれば、引越すわけにもゆきません。ならば、飲もうにも凍って汲めない井戸となれば、そこを溶かしてゆく以外に解決策はありません。そうした一連のAPECの局面を垣間見ている、ふとロータリー精神の崇高さに改めて気づきました。つまり、凍りついた関係を溶かしてゆく唯一の道は、ロータリーが唱える手に手つなぐ友愛の心をおいて、ないことを再認識した次第でございます。これにて本日の会長時間を締めくくります。ご清聴ありがとうございます。

幹事報告

- \*2015年ロータリーカレンダーが出来ました。受付に置いてありますので、お持ち帰りください。
- \*ひろしまインターネット美術館より「新制作絵画展」の招待券を頂きましたので、受付にてお配りしています。
- \*ロータリーの友誌(BOX配布)
- \*会員名簿追加貼りシール(BOX配布)

委員会報告

職業分類会員増強委員会 石井委員長  
例会終了後、委員会を開催します。



社会奉仕&青少年奉仕委員会 岡部委員長  
 例会終了後、合同委員会を開催します。  
 ローター情報委員会 森嶋委員長  
 ローター情報研修会参加御礼  
 ローター家族親睦委員会 山内副委員長  
 12/25クリスマス家族会ご案内  
 会報IT委員会 鈴木会員  
 ローターの友誌紹介 P7-P15財団特集記事 是非ご覧下さい。

### 広島豪雨土砂災害支援事業

8月の豪雨により甚大な被害を受けた学校法人武田学園に対し当クラブよりピアノを1台寄贈いたしました。  
 本日は武田理事長の代理で広島文教女子大学学長の角重始様に例会にお越しいただき、目録を贈呈しました。武田学園さんからは感謝状を頂戴しました。



### ニコニコ箱

### ニコニコ委員会

#### 【自主出宝】

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員  
 高橋様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしております。又、広島文教女子大学の角重学長様、そして8名のゲストの皆様、ようこそ当クラブにお越し下さいました。どうぞゆっくりお過ごしください。

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員  
 ローター情報委員会の森嶋委員長、山内副委員長、そして委員の皆様、先週の研修会の実施、大変ありがとうございました。参加メンバーの全員にとりまして、大変に良い勉強の場となりました。感謝を申し上げます。

ローター情報委員会(中山理事常任委員長・森嶋委員長・岩森委員・楨殿委員・粟屋委員・山内副委員長) 本日は、財団プログラ

ム11/6開催のローター情報研修会では、多くの会員に参加頂き、有意義な勉強会を開催することが出来ました。運営側の準備不足で判りにくい点も有ったかと存じますが、この経験を糧にして、今後もっと良いローター情報を委員会として提供する所存です。ご参加頂いた会員並びに関係各位に厚く御礼申し上げます。

久保(豊)会員・丸本会員・下前会員・岡部会員・吉永会員・山内会員・上田会員・渡部会員 高橋建さん、本日はお忙しい中、卓話をお引き受け頂き、誠にありがとうございます。楽しみにしています。

中山会員・石井会員・菅会員 ゲスト見学者の皆様、本日は例会に参加下さり、ありがとうございます。このご縁がローター入会のきっかけになれば幸いです。

岸本会員★ 永年連続出席45年、そして卒寿を迎えるにあたり、地区から表彰状を頂きました。ありがとうございました。

高原会員 グループ6内のガバナー公式訪問を終えました。これも偏に会員の皆様の応援と感謝しています。

森嶋会員 25年四半世紀、あっという間でした。これからもよろしく願います。

桑村会員 連続出席8年を迎える事が出来ました。これからも北ローターで頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

岩森会員 月曜日より突発性難聴で右耳が全く聞こえなくなりました。2週間で治る予定です。それまでは左耳で聞くこととなります。お許しください。

岡本会員 11月2日に下関海峡マラソンに参加しました。結果は3時間13分で完走しましたが、練習不足を痛感しました。次は12月に防府読売マラソンに参加します。

塩本(能)会員・三保会員 誕生日のお祝いをありがとうございました。

二井本会員 妻の誕生日には美しい花を頂きありがとうございます。

深川会員 先週のニコニコでは発表の折、二人も名前を間違えて読んでしまいました。杉町さん、山下正司さん申し訳ございませんでした。

当日計 54,000 円(内、web5,000 円) 累計 612,000 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

### 卓話時間

### 『日米野球の違いとカープ』

元広島東洋カープ投手・現野球解説者  
 高橋 建 氏



皆さん、こんにちは。高橋建です。よろしくお願ひいたします。

日米野球の違いを話させていただけるのは、ある意味、カープでは、メジャーに行ったのは黒田博樹投手と私だけなので、黒田投手が取り

あえず現役選手なので、僕がここでいくら嘘をついても、おそらく広島では僕のことを正しいと思っただけなので、日米の話をさせていただこうかと思っております。

その前に日米の違いということで、ボールを持ってきました。日本のボールがミズノのボールで、アメリカのボールがローリングスのボール。これ、ちょっと皆さんに触っていただこうかと思っただけなんですけども。実際に触ったらわかると思うんですけども、ボールの質がまったく違います。ボールの革の質がまったく違う、そして縫い目



がまったく違うので、触っただけでわかると思います。これを持ってきた理由の一つとして、やっぱり日米野球の違いのなかでもピッチャーが一番感じるところなんです。日本のボールは比較的しっとり感があります。なので、投げやすいボールです。アメリカのボールはちょっと乾燥しているボールなので、非常に扱いにくいボールとなっております。

そういうことがあるので、実はいろんな投手が不正投球をしているという実体があります。ということは、不正投球をしなければ滑るぐらい、ボールが乾燥していて、滑るということです。

それが、日本の野球ではボールにしっとり感があるので、あまり何もつけていない選手が多いように思われたんですけども、最近WBCなどでアメリカに行くことも増えていますし、そのせいかアメリカからの悪いものも普及してきています。そしてメジャーリーグで、日本人が向こうに行くケースが多くなったので、日本人のピッチャーも最近やたらと触る選手が増えてきたというふうに感じます。日米の違いということではボールは本当に違うものだと思います。

そして日米の違いですが、ボールが違う、そしてマウンドの硬さが実は違います。

私は結構アメリカで結果を残せたほうなんです。日本で防御率、実は2点台というのは、2軍で一度だけしか経験したことがないんですけども、1年間しかアメリカでやっていないんですけども、メジャーで30試合ぐらい投げて防御率が2.9、そしてマイナーでも30～40試合投げて防御率が2.3なんですよね。

何がよかったのかというと、マウンドの硬さが自分には合ったのようになって気がしました。アメリカのマウンドは、もし完投する、130～140球、1回から9回まで投げるとします。そうすると、日本の場合は踏み出した足、私は左投手なので踏み出した右足のところが9インチ投げたら15cmぐらいは掘れます。それぐらい軟らかい土を使っております。

ただアメリカの場合は、投げ続けても本当に1cm掘れるか掘れないかの、硬い土を使っております。なので、皆さんがよく、外国人は上体だけで投げているって言う人が多いと思うんですけども、それも一つの理由なんですよね。下半身を一生懸命使おうとしても、下が硬くて、下半身に負担が来過ぎてしまって投げられないようなマウンドになっているという、その土の硬さになっているということが、一つの理由じゃないかなと思います。私は、掘れるところよりも硬いところのほうがよかったようで、向こうではそこそこの結果が残せた感じがします。

カープのOBで佐々岡さんが今回2軍コーチになるんですけども、その佐々岡さんは実は私がアメリカに行く数年前に、アメリカからオフアが来ておりました。

だけど、行かない理由がいろいろあったのはわかるんですけども、その土の硬さの理由もあったと思います。そういうのが、やっぱり佐々岡さんをアメリカに行かせなかった理由だと思います。佐々岡さんはおそらくアメリカでやっていたら、たぶん3億円から5億円とか、そういうお金をいただける、そういうレベルの選手でした。日本ではたぶん2億円までしかいただけない選手だと思いますけど、向こうだとそういう金額をもらえるはずなのに行かなかった理由は、やっぱり文化の違いや、そのグラウンドの違いや言葉の違い、そこら辺がやっぱり自分じゃ不可能だと思って行かなかったのだと思います。

そして打者、堂林選手、日本では本当にパワーヒッターです。当たったら右中間に飛ばす力を持っております。堂林選手に取材しに行って、やっぱりパワーは自信あるのかと聞くと、やっぱり自信ありますと、遠くに飛ばすことに関してはやっぱり秀でているというか、自信を持っているんですということを言っていました。

ただ、ケイリー・シェフィールドという選手を覚えているでしょうか。ヤンキースで松井秀喜選手と一緒にチームメイトで右バッターだったんですけども、彼のバッティング練習を見たら、あの硬いボールが、ピンポン球のように打球を飛ばすんですよ。140m、150m 飛ばすよう

な、打球を飛ばすんです。そこら辺でやっぱり日米の違いを感じました。パワーの違いを感じました。もう圧倒的で、日本人がアメリカで、打者が通用しない理由の一つです。パワーですね。それはもう、全然敵わないのを感じました。

日本人で、アメリカで活躍できる選手は、イチロー選手や青木宣親選手。木選手も、ちょうど私が行った年にWBCがありました。第2回大会の優勝した時です。そのときに、アメリカのGMやエージェントの人たちがよく言っていました。青木はアメリカに行く気ないのかな、と私に質問してきました。なんでそんなこと言うんですかって聞いたら、青木はイチローのようにになれる、アメリカでも通用するよ。ただ、パワーはないけども、日本人の良さはそういう、野球をきっちりきっちりできて、そしてチームプレーを重んじて、できる選手が多い。なので、チームの方向性をしっかり把握してやってくれる人が多いので、日本人は好まれると言っていました。

今回、川崎宗則がトロント・ブルージェイズで、チーム内で溶け込める理由の一つとして、やっぱりそうやってチームプレーを重んじる、そういう素晴らしい選手ということがあるようです。

チームプレーを重んじる日本の野球というのは、向こうでもしっかりと、本当にリスペクトされていて、非常に日本人の選手はどんどん評価が上がっているのは確かです。

ただ、先ほど言ったパワーに加え、スピードがやっぱり違います。私は日本では左投手では速いほうでした。150キロも出したことがあります。晩年、アメリカに行く前は39歳の年だったので、その年でも速いときだと147～148キロ投げていました。

ただ、ニューヨーク・メッツに7～8人いる中継ぎ陣のブルペン陣のなかで、私は91マイルから92マイル投げられたピッチャー、145～146キロの球、投げたピッチャーが、一番遅いピッチャーでした。中継ぎ陣のピッチャーが皆、150キロ以上投げております。それぐらいスピードが違います。速いピッチャーだと、大谷翔平投手が昨日159キロですかね、投げていましたけども、そういうピッチャーが各球団に何人かいるというのが現実です。

なので、日米の違い、そうです。ボールの違いもあります。マウンドの硬さの違いもあります。そしてスピードの違い、パワーの違い、そこら辺がまったく違うなというのを感じました。

そして、私たちはやっぱりロッカールーム、日本で言うロッカー、アメリカで言うクラブハウス、こういうのを使わせてもらいます。日本の場合は遠征先に、もし行ったとしたら、遠征先のホテルでユニフォームに着替えて、バスに乗って、そして球場に行って、試合をして、そこでちょっと練習用のユニフォームとか出して、そしてユニフォームを着て帰る。

アメリカの場合は、自分でタクシーに乗って、その現地まで向かって、現地に、クラブハウスにユニフォームが置いてあるんでそこで着替えて、そしてそこでケータリングとかを取りながら練習をして、試合に望むというかたちなんですけども、日本のロッカーというのはお金が要りませんが、アメリカのクラブハウスというのは、遠征先でも地元

の球場でも、使う都度、お金を払わなきゃいけません。また日本のベンチというのは非常にきれいに使われております。飲んだらペットボトルとか、日本人というのはちゃんとごみ箱に捨てます。嘔みたばこをしている人が、何人かカープにもいます。ですが、ごみ箱に捨てるのできれいです。ただアメリカの場合は、ベンチのそこら中に捨てるんです。そしてガムも食べて、そこら辺に捨てています。そしてヒマワリの種もそこら辺に捨てています。

そんな汚く使うのが、私にとっては非常に日本人として不思議でしよがなかったです。もっときれいに使わなきゃいけないんじゃないかと思って、アメリカのある選手に聞いたら、なんでこんな汚くするんだって聞いたら、こうやって汚くしないと、そこを掃除する仕事なくなるだろうと言われました。そこをきれいにする仕事なくなると、そいつの仕事がなくなって、それでその人間は働けなくなる、だから俺たちはそこら辺に捨てているんだという発想だったので、そこら辺がちょっと違うなというか、びっくりさせられま



した。

そこら辺で日米の違いとかね、ロッカーもベンチもきれいに使う日本人と、やっぱり派手に、やっぱりお金を払っているんだから、あと、いただいたチップをもらって生計立てる人間がしっかりそこを掃除するという、そういう生計がなっているんだなというのを、まったく違う目で見させていただきました。

ファンの多さも、実はまったく違います。今回カーブは190万人、観客動員数が最多。私が入団した20年前は100万人入るのがやっとだった。そして私が入ったときは、ヤクルトと優勝争いをしていましたんですけども、選手よりファンのほうが少ないんじゃないかというぐらい、本当に人気のなかった時期でした。

それでも今は190万人入ってくれるということで、年間1試合につき2万人ぐらい、たぶん入っていると思うんですけども、アメリカはやっぱり3万人、4万人入っていると思います。

フロリダにマリナーズというチームがありました。そこはメジャーの球場でありながら、アメリカンフットボールのスタジアムであるということで、非常に大きいスタジアムです。10万人のスタジアムです。アメフトは、常に10万人入るそうです。

ただ、メジャーの野球の場合は3万人しか入っていないので、7万席が空席なんで、非常にお客さん、入っていないようで、それでも3万人入っているということなので、非常にお客さんの入り、そして人気もあるような感じがしました。

ただ球場の大きさは、やっぱり非常に向こうは大きいですし、そして風情があって、いい球場が多いように感じました。マツダスタジアムが今回できましたけども、オーナー代行とかいろいろ球場を見に行ったそうです。そしてヨーロッパにも行ったそうです。そのおかげでやっぱり球場の雰囲気はよくなって、お客さんが入るようになった理由の一つじゃないかなというも感じます。

そして私はニューヨーク・メッツが在籍チームだったので、ニューヨーク・メッツとニューヨーク・ヤンキース、これはサブウェイ・シリーズといって、地下鉄でつながっているチーム同士の試合が毎年あります。

私は運がいいことに、そのときにメジャーに上がったので、そしてヤンキーススタジアムで試合ができたので、サブウェイ・シリーズを堪能できたんですけども、すごかったです。ハイウェイが7車線ぐらいあるんですけども、全部通行止めにするんですよ。そしてそのバス3台の前後に白バイいてくれて、100マイルでそのハイウェイを、相手の球場まで行けるという、素晴らしい一大イベントもやらせていただきました。

そこら辺はもう、日本の野球とアメリカのモチベーションの持ち方というか、お祭りとして持ち上げてくれる、そのすごさを感じさせてもらいました。

そんなところで日米は終わらせてもらって、カーブのことですが、新しい戦力というのはわからないですけども、今年が一番優勝できる時期だったと思ったんですよ。

ジャイアンツがあれほど調子悪くて、阪神もそれほど元気なくて、そしてカーブは伸び盛りの選手がいっぱいいるということで、今年、実は優勝候補に初めて解説者として挙げたんですけども、残念ながら優勝できませんでした。ましてや3位になってしまったんです。2位で、マツダスタジアムで試合があったら、解説もあって、そして東京ドームに行ったら3試合解説があったので、楽しみにしていたんですけど。

デイリースポーツのほうでは、よくゴルフのコラムをやっております。ちょっと、うまい体で書いているんですけど、実はあんまりうまくないんです。ただ、そういうところも見ていただきたいなと思います。

これからも、こうやって解説で頑張っていくので、RCCならびにデイリー新聞、よろしくお願ひします。

今日はありがとうございました。

### ゲスト見学例会について

11月13日(木)の例会を「ゲスト見学例会」として実施したところ8名の方に例会にお越しいただくことができました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

職業分類・会員増強委員会一同



#### ■出席報告 出席委員会

2014年11月13日(木) 会員数 85名  
出席 61名 欠席 24名  
来賓 2名 来客 2名 ゲスト 8名  
10月23日例会出席率 100%  
10月度平均出席率 100%

#### ■来客紹介 ローリー-家族親睦委員会

角重 始 様(広島文教女子大学 学長)  
高橋 建 様(卓話者)  
榎本 暢之 様(広島東)  
岡野 昭三 様(広島東)  
出野 保志 様  
秋山 竜一 様  
中村 浩二 様  
鶴原 学 様  
池久保典也 様  
宮下 佳昌 様  
馬野 恭彰 様  
樽本 陽輔 様

#### ■次回例会ご案内 2014年12月4日(木)12:30~

卓話 年次総会 ー一次年度理事役員選出ー  
食事 中華